



1. 第10回ITER理事会をワシントンD.C. にて開催

ITER 機構の運営組織である ITER 理事会の第10回会合が2012年6月20, 21日に米国ワシントン D.C.にて開催されました。理事会はスティーブン・チュウ米国エネルギー省長官およびラッシュ・ホルト米議会下院議員を迎えましたが、両氏は本事業に対する米国の強い決意を述べました。2日間の会合ではITER参加7極-中国, 欧州連合, インド, 日本, 韓国, ロシア, 米国-の代表者が, 高津英幸博士(日本)議長の下, 一堂に会しました。

ITER 理事会はカダラッシュ(フランス)における ITER サイトの建築工事の顕著な進捗および全ての ITER 参加極でのトカマク機器の製造の進展に留意しました。理事会は, 493の耐震支持器が成功裡に据え付けられた, トカマク建屋耐震立坑の完成を歓迎しました。

ITER の実験における重要な要素であるテスト・ブランケット・モジュールの開発に備えて, 法的な枠組み取決め

が最終的に合意されました。理事会は, この研究計画への韓国の参加を歓迎しました。

理事会は, 真空容器などの幾つかの主要機器の製造の遅れについて懸念を表明しました。ITER 機構は, 更なる遅れを止めるための, 課題を先取りする改善手法を提示しました。それらの手法の幾つかは既の実施され始めています。理事会は, 国内機関と密接に協力して完全なスケジュール回復戦略の策定を更に進めて実施するように ITER 機構に要請しました。理事会メンバーは, 事業がスケジュールと予算を維持する必要があることを改めて確認しました。

本島修ITER機構長は, 会合において, 「ITERは正しい軌道を走り続ける巨大な国際列車のようなものである。我々の最も重要な義務は, この先一年に国内機関と ITER 機構の共同作業を通じてこの列車を加速することである。」とコメントしました。



図1 第10回 ITER 理事会議事風景。



図2 日本の理事会メンバー。

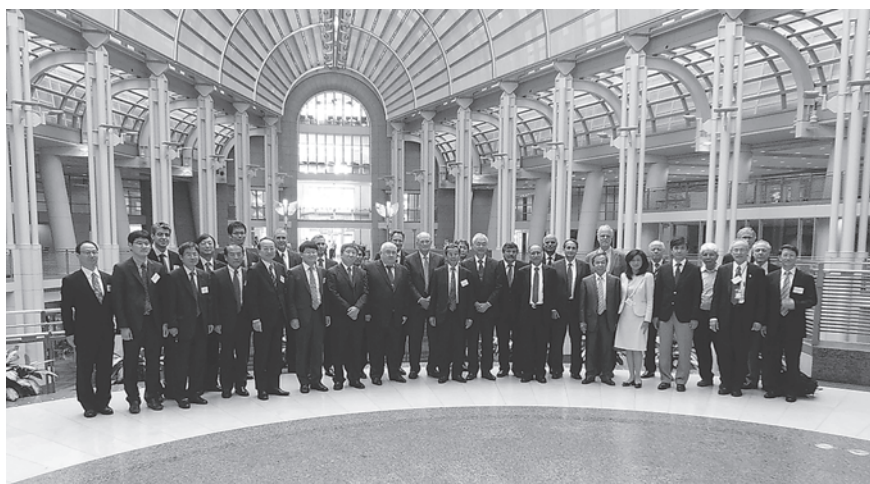


図3 ITER 理事会メンバー等。

理事会は、ITER 事業のスケジュールを維持するための幾つかの技術的な決定を行いました。理事会は、ITER の中心ソレノイドのための高性能超伝導体の性能評価の進捗に留意するとともに、時宜を得た製造およびスイスにある SULTAN 施設における試験を是認しました。理事会はまた、ITER トロイダル磁場コイルのための冷却試験のための戦略を是認しました。

会合において、これまでに76の調達取決めが ITER 機構と関係国内機関により調印されたことが報告されました。この数字は、ITER 建設の全調達価額の77%に相当します。

会合において、ITER 機構は、仏原子力規制当局 ASN から、18ヶ月に渡る検討の後、検討過程になされた全ての勧告を考慮して、ITER の運転条件および設計に関する ITER 機構の提案は期待される安全要求を満たすことを認める公式書簡を6月20日に受領したことを理事会に報告しました。今後数週間内に、ASN は、ITER 施設の建設を認可する宣言案を仏政府へ送付する予定です。これは、ITER の許認可プロセスにおける重要なマイルストーンです。

2. ITER 実機トロイダル磁場 (TF) コイルおよび構造物の入札説明会を那珂核融合研究所にて開催

原子力機構は、本年度から ITER トロイダル磁場

(TF) コイルおよび TF コイル構造物の第1号機を製作する契約を締結する予定です。現在、それらを製作する2件の契約の手続きを進めており、手続きの一環として、5月31日に企業を対象とした入札説明会を那珂核融合研究所にて実施しました。入札説明会には5社から延べ29名の参加があり、仕様や契約審査等に関する説明と質疑応答が行われました。これらの契約を8月末に締結することをめざしています。

3. ITER 計画の展示と ITER 機構職員募集説明会の実施

原子力機構では、我が国から ITER 機構への職員の応募を促進する活動の一環として、これまで国内外で ITER 計画の展示や ITER 機構職員公募の説明会を行っています。この度、4月20日に茨城県東海村で開催された日本原子力学会北関東支部総会において、ITER 機構職員募集の案内を行いました。会場ではおよそ20人の若手研究者の方々から ITER 機構職員公募について多くの質問があり、ITER に対する関心の高さが感じられました。この詳細については那珂 ITER ウェブサイト (<http://naka-www.jaea.go.jp>) の [ITER 機構職員募集説明会について] をご覧ください。

(日本原子力研究開発機構 核融合研究開発部門)